Calu-6□胞

300135

Calu-6□胞株は、61歳の男性患者の胸水から得られたヒト非小□胞肺癌（NSCLC）□胞株である。1975年に樹立されたこの□胞株は、肺癌研究において重要なモデルとなっている。Calu-6□胞は明瞭な上皮形態を示し、転移のメカニズム、薬剤耐性、腫瘍微小環境など肺癌の生物学的研究に広く用いられてきた。これらの　□胞は、異種移植モデルにおいて腫瘍を形成する能力で特に注目されており、腫瘍の増殖や治療薬に対する反応をin vivoで研究する上で非常に有用である。

Calu-6は、NSCLCで一般的なKRAS変異が多いという特徴があり、肺癌におけるこの癌遺伝子の役割を研究するのに適したモデルである。この　□胞株はまた、複雑な核型や異数性など、がん□胞に典型的ないくつかの□胞遺伝学的異常を示し、遺伝学的研究での利用に貢献している。 Calu-6□胞株を用いた研究は、肺癌の□胞メカニズムの理解と治療戦略の開発に役立っている。培養におけるその強固な増殖と肺癌の臨床的側面を模倣する能力により、腫瘍学研究において欠くことのできないリソースとなっている。

概要

□明

Calu-6□胞株は、61歳の男性患者の胸水から得られたヒト非小□胞肺癌（NSCLC）□胞株である。1975年に樹立されたこの□胞株は、肺癌研究において重要なモデルとなっている。Calu-6□胞は明瞭な上皮形態を示し、転移のメカニズム、薬剤耐性、腫瘍微小環境など肺癌の生物学的研究に広く用いられてきた。これらの　□胞は、異種移植モデルにおいて腫瘍を形成する能力で特に注目されており、腫瘍の増殖や治療薬に対する反応をin vivoで研究する上で非常に有用である。
Calu-6は、NSCLCで一般的なKRAS変異が多いという特徴があり、肺癌におけるこの癌遺伝子の役割を研究するのに適したモデルである。この　□胞株はまた、複雑な核型や異数性など、がん□胞に典型的ないくつかの□胞遺伝学的異常を示し、遺伝学的研究での利用に貢献している。 Calu-6□胞株を用いた研究は、肺癌の□胞メカニズムの理解と治療戦略の開発に役立っている。培養におけるその強固な増殖と肺癌の臨床的側面を模倣する能力により、腫瘍学研究において欠くことのできないリソースとなっている。

ティッシュ	肺
病気	腺癌
転移部位	胸水

同義語

- CaLu-6
- CALU-6
- Calu.6
- Calu 6
- Calu6
- CALU6
- CaLu-06

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで。低分化癌を形成

核型

幹線の染色体数は4倍体で、2S成分は5.8%であった。標準染色体数は59。14本のマーカー染色体（構成性）がほとんどの Sメタフェースに共通。 QM染色標本ではY染色体は検出されなかった。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

Calu-6 (Cytion カタログ番号 300135)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0236

発現と感受性

タンパク質の発現

P53陰性

アイソザイム

Me-2，1，PGM3，1，PGM1，2，ES-D，1，AK-1，1，GLO-1，2，G6PD，B、表現型頻度積： 0.0031

変異プロファイル

CaLu-6□胞はKRASコドン61，c.181C>A p.（Gln61Lys）に変異を有する。BRAFのNRAS変異は検出されなかった。

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w: 2 mM L-グルタミン、w: 2.2 g/L NaHCO3，w: EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	2×10^4 □胞/cm^2 を播種すると、約4日で90%コンフルエントな単層が形成される
流体の更新	週2〜3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 48時間行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	61年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB